

## 日本鉄鋼協会記事

**第6回理事会** 日時: 10月27日 16:00 開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 湯川会長ほか 25 名.

報告事項 I. 第6回, 第7回編集委員会に関する件  
II. 第6回企画委員会に関する件. III. 第7回研究委員会に関する件. IV. 50周年記念事業準備に関する件.  
V. 資料委員会に関する件. VI. 第68回講演大会に関する件. VII. 共同研究会幹事会に関する件. VIII. 第3回原子力総会シンポジウム共催に関する件. IX. 東京都科学技術関係功労者表彰に関する件.

協議事項 I. 表彰奨励選考委員会設置に関する件.  
II. 第11回大河内賞候補推薦に関する件. III. 標準化委員, 幹事委嘱に関する件. IV. 第70回(明年秋)講演大会に関する件. V. 試験高炉委員会に関する件. VI. 事務所移転に関する件. VII. 関西支部に39年度支部補助金交付に関する件. VIII. 東北支部に渡辺記念講演会開催資金交付に関する件. IX. 9月中入退会その他会員異動に関する件. X. 9月中収支決算に関する件.

**第7回研究委員会** 日時: 10月23日開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 村田委員長ほか 13 名.

議題 I. 表彰奨励選考委員会(仮称)について. II. 標準化委員会について. III. 設備技術共同研究について. IV. 鉄鋼基礎共同研究について. V. 講習会の開催計画について. VI. 秋季講演大会のあり方について. VII. 石原研究奨励金候補研究について.

**第8回編集委員会** 日時: 10月21日 16:00 開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 佐藤委員長ほか 18 名.

報告事項 会誌第13号(11月号)完成予定について.  
協議事項 I. 寄稿論文の審査. II. 会誌第51年第2号(2月号)掲載論文の選定. III. 機械学会賞候補論文推薦について. IV. 日本ベアリング工業会よりの技術資料掲載依頼について.

**第6回企画委員会** 日時: 10月20日 16:00 開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 伊木委員長ほか 12 名.

議題 I. 表彰奨励選考委員会(仮称)設置について. II. 第11回大河内賞候補推薦について. III. 秋季講演大会の開催方法について. IV. 事務所移転について. V. 国際金属会議の開催について. VI. 東京湾総合開発協議会に参否について.

**標準化委員会発足** 10月27日開催の理事会において本会内に標準化委員会を設置することに決定. 次の諸氏がそれぞれ委員, 幹事に委嘱された.

委員長 作井 誠太			
委員 辻畑 敬治	豊田 茂	桂 寛一郎	
土屋 秀介	松本 茂樹	磐城 恒隆	
井田 隆	川畑 正夫	五弓 勇雄	
長谷川正義	河田 和美	荒木 透	
小犬丸胤男	松本 豊	木下 亨	
吉田 道一			
幹事長 木下 亨			

幹事 木山 稔	村田 達夫	植木 久
今泉 益正	仁木誠之助	西 三夫
下川 義雄	中島 保彦	増田 光雄
佐藤 良蔵	吉武 進也	長谷川正義
荒木 透	吉田 道一	

**クライナー博士特別講演会開催** 西ドイツ・クルップ社研究所長クライナー博士来日の機会に, 同博士を招請して下記の通り特別講演会を開催した.

1. 日時 11月6日 15:00~17:00
2. 会場 東京都中央区京橋 ブリッジストン・ホール
3. 講演 純酸素上吹転炉法の冶金学的考察

クルップ社研究部長 クライナー博士

「協会の回顧と将来の展望」についての座談会開催

本会は明年をもつて創立50周年を迎えるので, この機会に長老各氏に集りを願い, 協会の回顧と将来の展望についてお話を伺うために11月11日午後2時半から丸の内ホテルにおいて座談会を開催した. 当日出席の方々次の通り(順序不同)

松下 長久氏	三島 徳七氏	田中 清治氏
山岡 武氏	伊藤 隆吉氏	角野 尚徳氏
塩沢 正一氏	石原 善雄氏	志村清次郎氏
室井嘉治馬氏	俵 信次氏	佐藤 忠雄氏
湯川会長	田畑専務理事	橋本参与

出席の各氏よりそれぞれ興味深き追憶談や, 今後の協会の在り方, 日本鉄鋼業の将来などについて甚だ有益なお話が熱心に交わされ, 午後6時散会した. なお当日の記事は後日発行される協会50年史に掲載の予定.

### 支 部 記 事

#### 東北支部

渡辺記念講演会開催 11月6日東北大金研講堂において開催, 次の講演が行なわれた.

わが国製鉄業の現況一特に原料事情について

講師 大原久之氏

#### 関西支部

秋季講演大会開催 11月21日下記の通り行なわれた.

1. 工場見学会 日立造船桜島工場
  2. 講演会 (会場: 大阪科学技術センター)
- 2, 3の研究の思い出 京大名誉教授 沢村 宏氏

#### 中国四国支部

学術講演会開催 11月16日八幡製鉄(株)光製鉄所教育センターにおいて次の通り開催された.

1. 建築材料としての鉄鋼金属材料  
東大工学部附属総合試験所講師 金谷 弘氏
2. 金属の腐食, 防食ならびに表面処理の問題点  
大阪大名誉教授 多賀谷正義氏

<b>Metal Research</b> Ulf Notini	<b>Royal Institute of Technology</b>	<b>Switzerland</b> M. G. Huber F. Bartu Concast AG
<b>Surahammars Bruks Aktiebolag</b> Christer P. A. Danielsson	<b>The Grangesberg Co.</b>	<b>India</b> P. E. Mehta Mukand Iron & Steel Works Ltd. M. N. Dastur & Co. Private Ltd. K. Anandan
<b>Holland</b> C. W. van Stein Callenfels		M. n. Dustur & Co. Ltd. Indian Inst. of Science
<b>Denmark</b> B. Christiansen	<b>Det Danske Staalval- sevaerk A/S</b>	<b>Canada</b> L. C. Johnston
<b>Belgium</b> P. Coheur	<b>Centre National de Recherches Mé- tallurgiques</b>	W. M. Armstrong Dominion Steel & Coal Corp. Ltd. Univ. of Toronto
<b>Austria</b> Cebr. Böhler & Co. Aktiengesellschaft		<b>East Pakistan</b> East Pakistan Industrial Development Corp.
<b>Australia</b> John Lysaght Ltd. J. Hawkins	<b>John Lysaght Ltd.</b>	<b>Italy</b> Prof. Inf. R. Raimondi Politecnico di Milano. <b>Brazil</b> J. A. Martinelli Univ. of Sao Paulo

## Tetsu-to-Hagané Overseas (第 4 卷・第 2 号)発行のお知らせ

頒 価 会員 500円 非会員 1440円 (送料込み)  
申 込 先 東京都千代田区丸の内 1-1 日本交通公社ビル 8 階

日 本 鉄 鋼 協 会

目 次

第 4 卷・第 2 号 (Vol. IV, No. 2, 1964)

### Presidential Address

A Description on the Activities of The Iron and Steel Institute of Japan.  
.....By Masao Yukawa...108

### Foreword

Present and Future of Iron Ore in Japanese Iron Industry.  
..... By Kōsuke Kikuchi...110

Institute Announcement and Reports —Spring General  
Assembly and 67th Grand Lecture Meeting— .....112

Lecture Subjects for the Preprints for the 67th Grand Lecture  
Meeting of The Iron and Steel Institute of Japan. ....115

### Research Articles

The Study of Gas Utilization Coefficient and Carbon Deposition on  
Ore Bed Reduction. .... By Tanekazu Sōma...121

The Application of Oxygen Concentration Cells with the Solid  
Electrolyte, ZrO<sub>2</sub>-CaO to Basic Research Works in Iron and  
Steel Making. ....By Yukio Matsushita and Kazuhiro Gotō...128

Studies on the Immersion Pyrometry of Steel Bath in the Ladle for  
the Severe Control of Casting Temperature.  
..... By Shinsaku Onodera, Yutaka Arakida and Noboru Hiraoka...139

Study on a Continuous Wire Rod Rolling. ....By Saburō Dazai...148

The Effect of Uranium on Iron and Steel.  
..... By Masayoshi Hasegawa and Ichirō Onoda...154

### Panel Discussion

On Melting of High Carbon Steel by Oxygen Converter Process. ....165